

第4回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会  
会議次第

日時 平成22年7月1日  
午前10時30分から  
場所 城西国際大学H棟(図書館棟)  
3階 プレゼンテーションホール

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター中期計画(参考  
修正案)について・・・別紙1

(2) その他

4. 閉 会

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター中期計画(参考修正案)

中期目標	中期計画(参考修正案)
<p>前文</p> <p>山武長生夷隅保健医療圏は、県内他地域に比べ、主要疾病(がん、心疾患、脳血管疾患等)による死亡率が高く、医師、看護師等の医療従事者も少なく、また、三次救急医療機関がないことから重篤救急患者は他の医療圏に依存しているなど、医療環境が厳しい地域である。とりわけ、救急患者の管外搬送率が高く、救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠となっている。</p> <p>東金市及び九十九里町は、「東金九十九里地域医療センター事業計画」を定め、千葉県を初めとする包括的支援と千葉大学医学部・同附属病院の協力のもと「東金九十九里地域医療センター(以下「医療センター」という。))」を設置することとした。</p> <p>この医療センターは、地域における医療機関相互の連携体制を確保し、救急以外の疾病に対しても当該地域はもとより千葉県における中核病院としての役割を担うことで、「患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安価な医療を行う」ことを基本理念としている。</p> <p>本中期目標は、医療センターを設置し、運営する「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」が開院までに行うべき業務運営に関する目標を定めるものとする。</p>	<p>(前文なし)</p> <p>*本中期計画書の位置づけ*</p> <p>○本計画案は独法設立後に独法自体として作成すべきものであり、設立前段階のため医療センター事業計画に基づき事務局が作成した参考案である。</p> <p>○本計画は独法自体が作成するものであり、計画実施の主体は独法となる。</p> <p>○計画期間は中期目標で指定された H26.3.31 までの間の独法の実施計画事項である。</p> <p>○目標数値等については、H26.3.31 までに到達すべき目標値を原則とする。H26.4.1以降の計画は次期中期目標・中期計画で定める。</p>

<p><b>第1 中期目標の期間</b> 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター設立の日から平成26年3月31日までとする。</p> <p><b>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療センターの医療機能             <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供</li> <li>・救命救急センターの併設</li> <li>・診療科 22科・病床数 314床（平成28年度）</li> </ul> </li> <li>・千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携の構築</li> <li>・4疾病4事業等政策医療への対応</li> </ol> <p>上記についての医療機能を確認すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 医療センターの施設整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県東金市丘山台三丁目6番1、6番2、7番1の一部、7番2を用地として取得し、医療センターの医療機能を発揮するために必要な設計及び建築を行うこと。</li> <li>・病院本棟のほか、医師・看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポートを医療センターの機能が発揮できるよう整備すること。</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>第1 中期計画の期間</b> 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター設立の日から平成26年3月31日までとする。</p> <p><b>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療センターの医療機能             <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急センターを併設し、救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院とするため、平成28年度において診療科 22科・病床数 314床の医療機能を想定し、平成26年度の開設時に146床の病床となるための内科、外科、救急科を中心に医療体制をととのえる。</li> <li>・千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携を構築し、病院施設の建設及び人材の確保を行う。</li> <li>・4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）4事業（救急医療・災害医療・周産期医療・小児医療）に対応した医療機能を確認する。</li> </ul> </li> <li>2 医療センターの施設整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 千葉県東金市丘山台三丁目6番1、6番2、7番1の一部、7番2を用地として取得する。</li> <li>(2) 病院本棟及び医師・看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポート等の整備を行う。</li> </ul> </li> </ol>
---	--

<p>(3) 病院の外來部門を中心にユニバーサルデザインを採用する。</p> <p>(4) 病院本棟の設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新による医療機能の変化及び社会状況の変化による病院機能の将来的な拡充やプラン変更に対応できる施設計画の作成とこれに基づく整備</li> <li>・免震構造等の採用の検討及び構造体の耐震安全性の分類をI類（官庁施設の総合耐震計画基準）を採用</li> <li>・医療用の防災備蓄倉庫を併設</li> <li>・救命救急センターはICU10床、HCU10床、一般病床は294床</li> <li>・手術室は7室</li> <li>・入院病棟は、基準階あたり2看護単位とし、<u>1看護単位あたり42床</u>程度</li> <li>・講堂、会議室を設置</li> <li>・研修医及び看護学生等のためのスペースを入院病棟1フロアあたりそれぞれ1室程度設置</li> <li>・救命救急センターは低層階に配置</li> <li>・救命救急センターとドクターヘリ・ヘリポート間の専用動線の確保</li> <li>・救命救急センターと手術部門との直接動線の確保</li> <li>・外來者動線、救急動線、サービス動線の分離</li> <li>・救命救急センターと放射線部門を隣接</li> <li>・外來部門はブロック受付</li> </ul> <p>(5) 医師・看護師宿舎の設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収容戸数45戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時も含め継続した医療機能の確保ができる施設とすること。</li> <li>・臨床研修及び学生教育を十分に行うための施設とすること。</li> <li>・将来の環境変化に柔軟に対応できる施設とすること。</li> <li>・ユニバーサルデザインの導入を図ること。</li> <li>・医療機能を確認しつつ、業務の効率化を図れる施設とすること。</li> <li>・環境負荷の低減に配慮した施設とすること。</li> <li>・上下水道その他既存のインフラを活用すること。</li> <li>・三次救急医療機関として救急医療が迅速かつ円滑に行える施設配置とすること。</li> <li>・病院の立地を考慮した駐車場の確保や、公共交通へ対応したロータリー等の整備を行うこと。</li> <li>・ドクターヘリ・ヘリポートは、離着陸に伴う安全空域の確保と地域環境に配慮した配置とすること。</li> <li>・病院本棟は、災害応急対策活動に対応できるよう耐震安全性を確保すること。</li> </ul>
--	---

<p>3 医療センターの設備整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な専門医療の提供と安全・安心の医療を継続的に行うため、信頼性・安全性が確保された設備とすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンルーム方式を基本</li> <li>・各個室は、医師宿舎、看護師宿舎のいずれにも利用可能な構造</li> <li>・建物は病院本棟配置を踏まえ敷地内に配置</li> </ul> <p>(6) 院内保育所の設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、看護師等病院勤務者の乳幼児から就学前児の保育を対象</li> <li>・収容児数 20 人に対応</li> <li>・通常保育のほか、<u>体調不良児も安心して任せられる施設</u></li> <li>・建物は病院本棟配置を踏まえ敷地内に配置</li> </ul> <p>(7) ドクタヘリ・ヘリポートの設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空法に適合する進入及び着陸空域の設定</li> <li>・病院本棟(救命救急センター)との専用動線が確保できる敷地内に配置</li> <li>・可能な限り地域住民の住環境への影響の少ない敷地配置</li> <li>・フェンス、防護柵等による人員及び機体の安全の確保</li> </ul> <p>(8) 土地利用その他は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造成にあたっては現状の敷地形状を有効に活用</li> <li>・上下水道、エネルギー等に関する既存インフラを活用</li> <li>・駐車場約 740 台分を確保</li> <li>・バス、タクシー等の公共交通機関の乗り入れに対応したロータリー、タクシープール等の整備</li> </ul> <p>3 医療センターの設備整備</p> <p>(1) 病院本棟の設備整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸室の機能、役割等に対応した空気の清浄度の確保</li> <li>・確実なバックアップ方式によるエネルギー供給</li> <li>・快適な空気・温熱環境の安定的な供給</li> </ul>
--	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修及び学生教育を十分に行うための設備とすること。</li> <li>・災害発生時にも、医療の重要度に応じて病院の機能を維持できる設備とすること。</li> <li>・医療環境及び衛生環境を適正に維持し、併せて快適性にも留意しつつ省エネルギーへの対応をしたものとすること。</li> <li>・磁気共鳴診断装置やコンピュータ断層撮影装置等の医療機器整備については、必要とされる医療機能に対応しつつ、建築への影響や経営に対する費用対効果を踏まえて整備すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修医及び看護学生等のための什器、情報端末等の整備</li> <li>・災害その他緊急時の臨時ベッド運用に併せた医療ガス設備等の整備</li> <li>・災害に対応した水、燃料等のライフライン資源の備蓄及び非常用電源の確保</li> <li>・省エネルギーやライフサイクルコスト比較も踏まえた設備機器の選定</li> </ul> <p>(2) 主要な放射線関連医療機器として、一般撮影装置、X線TV撮影装置、乳房撮影装置、血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴断層撮影装置、ポータブル撮影装置、ガンマカメラ、CRシステム、PACSを整備する。</p> <p>(3) 医師看護師宿舎の設備整備は次により行う。 各個室は、医師宿舎、看護師宿舎の兼用性を備える設備</p> <p>(4) 院内保育所の設備整備は次により行う。 通常保育のほか、<u>体調不良児も安心して任せられる設備</u></p>				
<p>4 医療センターの人材確保</p> <p>(1) 人材の確保</p> <p>救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として十分機能し、かつ4疾病4事業への対応も十分行うために、医師、看護師、医療技術員、事務職等のあらゆる職種及び階層において、当医療センターの理念を実現するために医療機能に応じた必要な人材を確保すること。</p> <p>また、そのための有効な手段として、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム(千葉大学医学部附属病院九十九里地</p>	<p>4 医療センターの人材確保</p> <p>(1) 人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の開設想定病床数を146床とし、これに対応する<u>常勤の医師、看護師等</u>を次のように確保する。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>医師</td> <td>30人(常勤医)</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>129人(救命救急センター、一般病棟7対1入院基本料への対応分等を含む)</td> </tr> </table> <p>その他 <u>必要な人数</u>(薬剤師、臨床検査技師、事務員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育シ</li> </ul>	医師	30人(常勤医)	看護師	129人(救命救急センター、一般病棟7対1入院基本料への対応分等を含む)
医師	30人(常勤医)				
看護師	129人(救命救急センター、一般病棟7対1入院基本料への対応分等を含む)				

<p>域臨床教育センター（仮称）を応用した医師派遣システム等の具 体化に向けた取り組みを行うこと。さらに看護師確保については、 一般病棟入院基本料の7対1入院基本料の算定に対応できるよう 早期に募集体制や確保のための諸制度を整えること。 これら人材の確保については、開院初年度予定病床数146床に対 応するものであること。 また、将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため、東 金市及び九十九里町と協議のうえ、地域教育機関等との連携を図 ること。 (2) 開院に向けた教育研修体制の整備 開院前における医師・看護師等の確保と並行し、これらの者が開 院直後から円滑に医療を提供できるための教育研修の体制、システ ム等を整備すること。</p>	<p>システム（千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター（仮 称））を応用した医師派遣システム等を導入する。また、そのための 千葉大学医学部・同附属病院との基本協定を平成22年度に締結す る。 ・看護師に関しては、平成22年度から人材確保のための専門体制を 整え、とともに、将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図 るため平成23年度には奨学金制度の導入を開始する。 ・千葉県立保健医療大学、城西国際大学その他教育機関と連携し、看 護師の確保の基盤を整える。 (2) 開院に向けた他院における教育研修体制の整備 千葉大学医学部・同附属病院及び千葉県病院局と協議し、平成26 年度の開設に向けて医師、看護師等が事前に実地での他院における教 育研修が出来る制度を整備する。</p>
<p>5 医師会や地域の医療機関等との連携 医療センターの整備に併せ、医師会や地域公立病院等との連携や役 割分担のあり方について協議し、地域の医療環境の向上を図ること。</p>	<p>5 医師会や地域の医療機関との連携 ・地域完結型の医療提供を行うため、行政機関と連携し、<u>県及び郡医 師会、近隣医療機関等と急性期医療や慢性期疾患に対する医療等の 医療機能の役割分担を推進する。また、地域医療連携室を設置し、 切れ目のない医療提供システム等を構築する。</u> ・<u>夜間休日急病診療、二次救急輪番</u>について、関係行政機関との協議 を図り、将来に向けた救急医療提供体制を構築する。</p>
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 効率的で財政上も健全な運営手法の確立 充実した医療の提供と医師・看護師等が働きやすい環境を整えると</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措 置 1 効率的で財政上も健全な運営手法の確立 ・業務全体について統合的なITシステムを確立するため、平成22年</p>

<p>ともに、効率的、かつ財政上も健全な運営を確立するため、IT システムや外部委託の有効活用を図ること。</p> <p>2 魅力ある人事・給与制度の確立 高度で専門的な医療を提供していくためには優秀な人材を確保する必要があり、能力や成果を反映した魅力ある人事・給与制度を確立すること。</p> <p>3 会計制度の整備と運用 病院事業として適正な経理、運用が図れる会計制度を早期に整備すること。</p> <p>第 4 財務内容の改善に関する事項 1 健全な経営基盤の確立 (1) 権限と責任の所在を明確にした組織の確立 高度な専門性を有する様々な職種により成り立つ病院組織が有効に機能するため、権限と責任の所在を明確にした組織体制を確立す</p>	<p>度において IT 整備計画を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT システムは、IT 整備計画に基づき、病院開設に向けた電子カルテ導入、財務会計制度の確立、医療機器等の導入等と並行して整備する。</li> <li>・ 最新の医学情報について千葉大学附属図書館の医学情報を閲覧できる電子情報システムの導入を図る。</li> <li>・ 開院後の委託業務を円滑に進めるため、政令 8 業務を含む外部委託に関する準備を進め、計画的に委託を行う。</li> </ul> <p>2 魅力ある人事・給与制度の確立 平成 22 年度に病院開設時までに必要となる給与制度、報酬制度、自己点検・自己評価を反映できる勤務評価制度、教育制度等の人事制度を確立するものとし、地方独立行政法人としての有利性を生かした仕組みづくりを進める。また、人員配置については資格、経験や年齢を踏まえたものとする。</p> <p>3 会計制度の整備と運用 平成 22 年度に基本となる財務会計制度を整えるとともに、地方独立行政法人としての弾力性を生かし、年度間、科目間での柔軟な運用が可能な財務会計制度とする。</p> <p>第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 健全な経営基盤の確立 (1) 権限と責任の所在を明確にした組織の確立 平成 22 年度に基本となる組織制度を整えるとともに、平成 25 年度までに病院開設後必要となる組織計画を策定する。</p>
--	---

<p>ること。</p> <p>(2) 経営情報システムの構築 健全で効率的な経営を確立するために、経営判断や意思決定に資する有効な経営情報システムの導入計画を立て、開院前までに必要な整備を図ること。</p> <p>2 支出の適正化</p> <p>(1) 建築関連 医療センターに必要な機能や効率性を確保しつつ、イニシャルコスト及びトータルライフサイクルコストの観点からその妥当性に留意すること。特に公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守すること。</p> <p>(2) 人件費関連 質の高い医療を提供し、かつ円滑な開院のために必要な人材確保を行うとともに、人件費に関する支出の適正化を図ること。</p> <p>第5 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 実施スケジュールの確立 平成26年4月1日の開院を目指し、地方独立行政法人としての実施体制の整備、建築に係る設計・施工、医師・看護師等の人材確保、</p>	<p>(2) 経営情報システムの構築 ・業務全体について統合的なITシステムを確立するため、平成22年度においてIT整備計画を策定する。(再掲)</p> <p>・ITシステムは、IT整備計画に基づき、病院開設に向けた電子カルテ導入、財務会計制度の確立、医療機器等の導入等と並行して整備する。(再掲)</p> <p>2 支出の適正化</p> <p>(1) 建築関連 起債償還、メンテナンス等の将来的な経営負担と医療センターに必要な機能や効率性の確保についてバランスのとれた設計と建築を行う。特に、公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守した建築とする。</p> <p>(2) 人件費関連 医師、看護師等の給与等については、非公務員による運営であることを踏まえた給与制度とする。</p> <p>(3) 経営シミュレーションの実施 医療制度、診療報酬制度の改定等にあわせ、将来的な財務内容の適正化及び健全化の見直しを立てるため、随時経営シミュレーションの見直しを行う。</p> <p>第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 実施スケジュールの確立 平成22年度から平成25年度の実施スケジュールは次のとおりとする。</p>
---	--

その他必要な事項についてスケジュールを確立すること。          2 財政負担の原則 医療センターの整備に係る事業費を125.71億円と予定し、これに対応する東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等により事業を行うこと。	項目 管理運営体制 施設建築関係等	平成22年度 人事組織制度、財務制度の確立 用地取得 実施設計	平成23年度 事業執行体制の拡充強化 実施設計・建築工事	平成24年度 事業執行体制の拡充強化 建築工事	平成25年度 事業執行体制の拡充強化 建築工事 主要医療機器設置 物品調達
	医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修 修派遣
	看護師等のコメディカルの確保	看護師募集の手法、スケジュール確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 修派遣
	2 財政負担の原則 ・施設及び整備に関する計画（平成22年度～25年度）				

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設、医療機器等	総額 12,571 百万	東金市及び九十九

の整備	円	里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等
<p>3 地域に対する広報等 医療センターの理念や役割を広報し、地域住民の理解を深めると。</p>	<p>・東金九十九里地域医療センターの整備に係る事業費は、東金市、九十九里町等からの出資金、負担金、補助金等を除き、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターが負担する。</p> <p>3 地域に対する広報等</p> <p>・東金市及び九十九里町と協議し、地域医療センターの整備状況等を定期的に広報する。</p> <p>・住民に関われた医療センターとするため、<u>情報提供と情報公開を推進する。</u></p>	<p>・東金九十九里地域医療センターの整備に係る事業費は、東金市、九十九里町等からの出資金、負担金、補助金等を除き、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターが負担する。</p>
<p>第6 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（平成22年度～平成25年度）</p> <p>2 収支計画（平成22年度～25年度）</p> <p>3 資金計画（平成22年度～25年度）</p>	<p>別表1のとおり</p>	
<p>第7 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 100百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由</p> <p>(1) 運営費負担金の受入れ遅延等による資金不足への対応</p> <p>(2) その他、偶発的な資金不足への対応</p>		
<p>第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>なし</p>		

第9 剰余金の使途

該当剰余金なし

(医業を開始していないことによる)

第10 料金に関する事項

該当料金なし

(医業を開始していないことによる)

第11 その他業務運営に関する重要事項(平成22年度～平成25年度)

(1) 施設及び設備に関する計画

別表2のとおり

(2) 積立金の処分に関する計画

なし

1 予算(平成22年度～平成25年度) (単位:百万円)		2 収支計画(平成22年度～平成25年度) (単位:百万円)		3 資金計画(平成22年度～平成25年度) (単位:百万円)	
区分	金額	区分	金額	区分	金額
収入		収入の部	780	資金収入	12,581
営業収益	668	営業収益	668	業務活動による収入	668
医業収益		医業収益		運営費負担金による収入	668
運営費負担金収益	668	運営費負担金収益	668	補助金等収入	
補助金等収益		補助金等収益		その他業務活動による収入	
営業外収益	112	営業外収益	112	投資活動による収入	112
運営費負担金収益	112	運営費負担金収益	112	運営費負担金による収入	112
雑益		雑益		その他投資活動による収入	
資本収入	11,801	臨時利益		財務活動による収入	11,801
出資金収入	139	臨時利益		出資金による収入	139
運営費負担金収入		支出の部	780	長期借入による収入	10,284
補助金収入	1,378	営業費用	668	補助金による収入	1,378
長期借入金	10,284	医業費用		資金支出	12,571
その他の収入		一般管理費	668	業務活動による支出	780
計	12,581	給与費	429	給与費支出	429
支出		委託費	80	委託費支出	80
営業費用	668	経費	159	経費支出	159
医業費用		雑支出		支払利息支出	112
一般管理費	668	営業外費用	112	投資活動による支出	11,791
給与費	429	支払利息	112	有形固定資産(土地)取得による支出	944
委託費	80	臨時損失		有形固定資産(建設仮勘定)取得による支出	10,847
経費	159	純利益	0	財務活動による支出	
雑支出				長期借入金返済による支出	
営業外費用	112			次期目標期間への繰越金	10
支払利息	112				
資本支出	11,791				
建設改良費	11,791				
その他の支出					
計	12,571				

(注1) 係数は端数をそれぞれ四捨五入している。

(注2) 期間中の給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

期間中総額429百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

【運営費負担金のルール】

運営費負担金等については、料金助成のための運営費負担金等とする。

## 施設および設備に関する計画(全体事業費)

費用区分	金額	財 源 内 訳			備 考	
		一般財源	病院事業債	補助金		
土地購入費	934		934			
調査・測量費	10	10				
建 築 費	病院建築費	7,159		6,192	967	80㎡/床、285千円/㎡
	医師・看護師宿舍建築費	363		363		医師用15戸、看護師用30戸
	保育所建築費	64		64		20人定員 木造 平屋建
	エネルギー棟建築費	158		158		RC造 平屋建
	防災備蓄倉庫建築費	22		22		S造 平屋建
	外構工事費	250		250		舗装、植栽等
	工事雑費(別途工事等)	273	43	230		電話通信関係設備工事費、 防犯システム、映像・音響シ ステム等
小 計	8,288	43	7,278	967		
設計・監理費	349	77	272			
設 備 整 備 費	医療機器	2,000		1,800	200	
	備品類	210			210	
小 計	2,210		1,800	410		
そ の 他	移転費	10	10			
	開院前人件費	429	429			
	開設準備費	80	80			IT計画、運営マニュアル策定等
	諸税	149	149			不動産取得税・固定資産税・ 都市計画税
	支払利息	111	111			開院前起債償還(利息分)
小 計	779	779				
合 計	12,571	910	10,284	1,377		

※ 標示単位未満の数値があるため合計は一致しない場合あり

施設および設備に関する計画(年度別計画)

(単位:百万円)

項目		金額	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
土地購入費		934	934	-	-	-
調査・測量費		10	10	-	-	-
建築費	病院建築費	7,159	-	-	3,580	3,580
	医師・看護師宿舍建築費	363	-	-	-	363
	保育所建築費	64	-	-	-	64
	エネルギー棟建築費	158	-	-	-	158
	防災備蓄倉庫建築費	22	-	-	-	22
	外構工事費	250	-	-	-	250
	工事雑費(別途工事等)	273	-	-	-	273
	小計	8,288	-	-	3,580	4,708
設計・監理費		349	77	140	66	66
設備整備費	医療機器※	2,000	-	-	-	2,000
	備品類	210	-	-	-	210
	小計	2,210	-	-	-	2,210
その他	移転費	10	-	-	-	10
	開設前人件費	429	39	54	89	247
	開設準備費	80	20	20	20	20
	諸税	149	-	20	7	122
	支払利息	111	-	17	19	76
小計	779	59	111	136	474	
合計		12,571	1,080	251	3,782	7,459
財源内訳	補助金	1,377	-	-	484	894
	病院事業債	10,284	934	140	3,163	6,048
	一般財源	910	146	111	136	517
合計		12,571	1,080	251	3,782	7,459

※医療機器は開設後3年間で10億円整備

表示単位未満の数値があるため合計は一致しない場合あり

第4回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会 資料

資料1

評価委員会の今後の会議予定等

資料2

説明資料(1)

資料3

説明資料(2)

資料4

第3回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

## 評価委員会の今後の会議予定等(新)

開催時期		主な内容	備考
平成 22 年 2 月 26 日(金)	第 1 回評価委員会	・ 正副委員長選任 ・ 会議運営規程制定	委員会設立
3 月 29 日(月)	第 2 回評価委員会	・ 中期目標案の審議	
5 月 14 日(金)	第 3 回評価委員会	・ 中期目標修正案の審議 ・ 中期計画参考案の意見聴取	
6 月		中期目標案を東金市・九十九里町議会に上程、議決	九十九里町 6/11 東金市 6/24
		県に地方独立行政法人設立認可申請	6/28
7 月 1 日	第 4 回評価委員会	・ 中期計画参考修正案の審議	
7 月中下旬		県から地方独立行政法人設立認可	
		地方独立行政法人理事会 ・ 理事長等任命 ・ 中期計画ほか諸案件の理事会決定	
		地方独立行政法人から市町に中期計画の認可申請	
7 末～8 月中旬	第 5 回評価委員会	・ 中期計画の審議 ・ 業務方法書、法人役員報酬等の支給規程の審議	
		中期計画を東金市・九十九里町議会に上程、議決	
		地方独立行政法人設立	登記
平成 23 年 6 月	第 回評価委員会	・ 平成 22 年度財務諸表への意見 ・ 平成 22 年度業務の実績に関する評価	

## 評価委員会の今後の会議予定等(旧)

開催時期		主な内容	備考
平成 22 年 2 月 26 日(金)	第 1 回評価委員会	・ 正副委員長選任 ・ 会議運営規程制定	委員会設立
3 月 29 日(月)	第 2 回評価委員会	・ 中期目標案の審議	
5 月 14 日(金)	第 3 回評価委員会	・ 中期目標修正案の審議 ・ 中期計画原案の意見聴取	
6 月		中期目標案を東金市議会・ 九十九里町議会に上程、議 決	
7 月		地方独立行政法人設立認可	
		地方独立行政法人設立総会	登記
		法人理事会で中期計画案を 決定し設立団体にその認可 申請	
7~8 月	第 4 回評価委員会	・ 中期計画案の審議 ・ 業務方法書案の審議 ・ 法人役員報酬等の支給基 準案の審議	
	第 回評価委員会		
9 月		中期計画案を東金市議会・ 九十九里町議会に上程、議 決	
		設立団体として中期計画を 認可	
平成 23 年 6 月	第 回評価委員会	・ 平成 22 年度財務諸表への 意見 ・ 平成 22 年度業務の実績に 関する評価	

## 説明資料(1)

<p>診療科 (別紙 1 2 頁関係)</p> <p>医師数 (別紙 1 5 頁関係)</p>	<p>地域医療センターの診療科については、県試案ではこの地域の医療環境や山武地域医療センターでの議論を踏まえ、17診療科の提案がされたが、医療専門委員会や検討協議会において、この地域に必要とされている救急医療や急性期医療を軸とした病院としての医療機能を議論した上で整理してきた結果、救急機能を確保するための診療科として心臓血管外科、精神科、歯科口腔外科、救急科が、地域医療の確保としての代謝内分泌科が加わり、22診療科とした。</p> <p>医師の配置については、救急医療・急性期医療を軸とした山武長生夷隅医療圏の中核病院として地域の医療ニーズに対応できる医師数を配置すること、4疾病4事業への対応に必要な医師数を配置すること、基本的なコンセプトに盛り込まれている臨床研修指定病院として必要な医師数を配置すること、さらには同規模で救命救急センターを併設している病院の医師数も踏まえて56人と想定した。段階的なオープンにあわせ、平成26年度30人・27年度42人・28年度56人(後期研修医含む)</p> <p>・内科(2)・消化器内科(4)・神経内科(2)・呼吸器内科(2)・循環器内科(4)・代謝内分泌内科(2)・小児科(4)・外科(5)・心臓血管外科(3)・整形外科(5)・脳神経外科(3)・皮膚科(1)・泌尿器科(1)・産婦人科(3)・眼科(1)・耳鼻咽喉科(1)・リハビリテーション科(1)・放射線科(2)・麻酔科(3)・精神科(1)・歯科口腔外科(1)・救急科(5) 合計 22科(56名)</p> <p>※( )内は医師数</p>						
<p>ICU・HCU 一般病床数 (別紙 1 2 頁・3 頁関係)</p>	<p>ICU・HCUについては国の「救急医療対策実施要綱」で定める「救命救急センター」の整備基準において概ね20床以上と規定されている。</p> <p>一般病床数は1病棟あたり42床と想定し平成26年度は3病棟、平成27年度は5病棟、平成28年度は7病棟と3年間の段階的なオープンとした。</p> <table border="0" data-bbox="435 1305 1353 1417"> <tr> <td>平成26年度 ICU10床・HCU10床・一般病床数 126床</td> <td>合計 146床</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 〃 一般病床数 210床</td> <td>合計 230床</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 〃 一般病床数 294床</td> <td>合計 314床</td> </tr> </table>	平成26年度 ICU10床・HCU10床・一般病床数 126床	合計 146床	平成27年度 〃 一般病床数 210床	合計 230床	平成28年度 〃 一般病床数 294床	合計 314床
平成26年度 ICU10床・HCU10床・一般病床数 126床	合計 146床						
平成27年度 〃 一般病床数 210床	合計 230床						
平成28年度 〃 一般病床数 294床	合計 314床						
<p>手術室 (別紙 1 3 頁関係)</p>	<p>医療センターの機能を考慮し、一般手術室5室・バイオクリーン手術室1室・救命救急センター内手術室1室の合計7室とした。</p>						
<p>医師、看護師 宿舎収容戸数 (別紙 1 3 頁関係)</p>	<p>緊急時対応として、病院から徒歩5分圏内に一定の医師、コメディカル<sup>①</sup>の宿舎を確保することを目標とした。近隣に賃貸アパート、貸家がないため当該建設予定地に、宿舎を建設することとしたもの。医師・コメディカル<sup>②</sup>等の職種や性別にかかわらず利用できるエバーグリーン<sup>③</sup>とし医師宿舎・看護師宿舎一体で整備する。</p> <p>①初期研修医宿舎(15名) 夜間における緊急手術等への対応を目的。 初期研修医7名、その他技師・薬剤師等コメディカル<sup>②</sup>8名、計15名とした。 また、その他医師についても、借り上げ等の手法により近隣に確保する。</p> <p>②看護師宿舎(30名) 看護師の安定確保を目的。 原則として県外出身の新規採用者を対象とし、これを毎年度10名と仮定。 卒業後3年間は本宿舎で対応するものとし30名とした。</p>						

院内保育所収 容児数 (別紙1 4頁関係)	20人定員 看護師の想定年齢構成、合計特殊出生率、院内保育所の利用率等から算出。
駐車場台数 (別紙1 4頁関係)	約740台 開院後10年時点におけるシミュレーションで患者用駐車場、職員用駐車場についてそれぞれがピーク時に、収容可能なように設定。 ①外来患者用 約365台 (『車いす使用者用駐車施設』を含む) 外来患者が最も集中する時間帯においても、待つことなく駐車できることを目標とした。 曜日別ピークを考慮した1日最大外来患者数、患者集中係数、外来患者の自家用車利用率、1人あたり想定診療時間、外来診療時間等より算出。 ②その他病院職員・サービス用 約375台 看護師については、円滑な引継ぎができることを目標とした。 看護師については、交代前後の看護師合計分を考慮。 事業計画で想定している医師数、看護師数、その他常勤職員数、委託職員数及び病棟別看護体制、サービス車両、緊急車両、病院専用車、タクシープール等から算出した。
看護師数 (別紙1 5頁関係)	平成26年度 129人 (ICU・HCU 35人 病棟 72人 外来等 22人) 平成27年度 190人 (ICU・HCU 35人 病棟 125人 外来等 30人) 平成28年度 256人 (ICU・HCU 40人 病棟 175人 外来等 41人) 平成29年度 286人 (ICU・HCU 55人 病棟 189人 外来等 42人)  ICU・HCU及び病棟については段階的なオープンや病床稼働率をもとに入院基本料等に対応する配置とした。 ・病床稼働率 平成26年度 ICU 70% HCU 70% 病棟 70% 平成27年度 ICU 70% HCU 80% 病棟 80% 平成28年度 ICU 70% HCU 80% 病棟 80% 平成29年度 ICU 70% HCU 85% 病棟 85% ・看護配置 ICU 2:1 HCU 4:1 一般病棟 7:1 外来等については想定外来患者数及び手術・中材・管理部門等に必要の人員を適宜配置して算出した。 ・想定外来患者数 平成26年度 412人 平成27年度 531人 平成28年度 726人 平成29年度 770人

## 説明資料（2）

## 1 予算(平成22年度～平成25年度)

(単位:百万円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
収入	1,090	251	3,782	7,459	12,581
営業収益	59	94	116	399	668
医業収益					
運営費負担金収益	59	94	116	399	668
補助金等収益					
営業外収益		17	19	76	112
運営費負担金収益		17	19	76	112
雑益					
資本収入	1,031	140	3,647	6,985	11,801
出資金収入	97			43	139
運営費負担金収入					
補助金収入			484	894	1,378
長期借入金	934	140	3,163	6,048	10,284
その他の収入					
支出	1,080	251	3,782	7,459	12,571
営業費用	59	94	116	399	668
医業費用					
一般管理費	59	94	116	399	668
給与費	39	54	89	247	429
委託費	20	20	20	20	80
経費		20	7	132	159
雑支出					
営業外費用		17	19	76	112
支払利息		17	19	76	112
資本支出	1,021	140	3,646	6,984	11,791
建設改良費	1,021	140	3,646	6,984	11,791
その他の支出					

※表示単位未満の数値があるため、合計は一致しない場合があります。

2 収支計画(平成22年度～平成25年度)

(単位:百万円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
収入の部	59	111	135	475	780
営業収益	59	94	116	399	668
医業収益					
運営費負担金収益	59	94	116	399	668
補助金等収益					
営業外収益		17	19	76	112
運営費負担金収益		17	19	76	112
雑益					
臨時利益					
支出の部	59	111	135	475	780
営業費用	59	94	116	399	668
医業費用					
一般管理費	59	94	116	399	668
給与費	39	54	89	247	429
委託費	20	20	20	20	80
経費		20	7	132	159
雑支出					
営業外費用		17	19	76	112
支払利息		17	19	76	112
臨時損失					
純利益					

※表示単位未満の数値があるため、合計は一致しない場合があります。

3 資金計画(平成22年度～平成25年度)

(単位:百万円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
資金収入	1,090	251	3,782	7,459	12,581
業務活動による収入	59	94	116	399	668
運営費交付金による収入	59	94	116	399	668
補助金等収入					
その他業務活動による収入					
投資活動による収入		17	19	76	112
運営費負担金による収入		17	19	76	112
その他投資活動による収入					
財務活動による収入	1,031	140	3,647	6,985	11,801
出資金による収入	97			43	139
長期借入による収入	934	140	3,163	6,048	10,284
補助金による収入			484	894	1,378
資金支出	1,080	251	3,782	7,459	12,571
業務活動による支出	59	111	135	475	780
給与費支出	39	54	89	247	429
委託費支出	20	20	20	20	80
経費支出		20	7	132	159
支払利息支出		17	19	76	112
投資活動による支出	1,021	140	3,646	6,984	11,791
有形固定資産(土地)取得による支出	944				944
有形固定資産(建設仮勘定)取得による支出	77	140	3,646	6,984	10,847
財務活動による支出					
長期借入金返済による支出					
次期目標期間への繰越金	10				10

※表示単位未満の数値があるため、合計は一致しない場合があります。

# 略